

こんにちは

2024.5.15

No. 93

うみ議会だより
3月定例会

うみ議会です

6年ぶりに
稚児行列が
復活!!

宇美八幡宮子安大祭

P2 3月定例会

P7 一般質問町政を問う5人が登壇

P13 委員会活動報告

16ページに表紙関連記事を記載

Koe Meter

声メーター

003

実施中!

議会広報が聞いたみなさんの声
2022.3から

3月定例会の概要



動画でご覧
いただけます。

地元事業者の成長と発展に期待

宇美町中小企業 振興条例

町内の事業者の多くは中小企業・小規模事業者であり多くの人々の雇用を支えている。また、町のにぎわいづくりや安心して暮らせるまちづくりのため、様々な地域振興に積極的に取り組み、まちづくりの担い手としても大きく貢献している。

自主的な努力や創意工夫を基本としつつ、地域社会全体が一体となって中小企業・小規模事業者の成長と発展を支え、本町の経済の持続的な発展と町民生活の向上を図る事を目的とする宇美町中小企業振興条例の制定を可決した。



知念 幸平さん

出張整体を営みつつ消防団や商工会青年部活動をしています。条例が制定されたことで地域の事業者として、今後も地域の発展へとつなげていきたいです。



合屋昭輝商工会会長

条例が制定され、本町企業の成長が、町全体のにぎわいや生活向上につながることを期待しています。地域活性ができるように、これからも企業を支援していきたい。



光正寺緑道の桜並木

3月定例会は、3月6日から3月22日までの17日間の会期で開かれました。町長から提出された案件は、令和6年度当初予算をはじめ、人事、条例、補正予算など23議案が提出され、全てを原案通り可決しました。

一般質問には5名の議員が防災、通学路交通安全、健康増進をテーマに7項目を質問をしました。

令和6年度予算(一般会計など5会計)については、当初予算審査特別委員会を設置し、集中審査しました。

- 問** 本町の発展のためにも町の課題を企業と共有できないか。
- 答** どのような施策を展開していくか事業者、商工会と情報を共有していきたい。
- 問** 町と事業者が協力し町の活性化にどのようにつなげていくのか。
- 答** 本町が直面する課題を事業提案制度などを活用し、町の活性化へつなげるように話し合いを行っていく。

物価高騰対応重点支援



深川 真志さん

子どもにとって学校給食は栄養バランスの取れた大切なもの。物価高騰の中、品質向上、価格据置の取組は大変ありがたいです。給食への感謝の気持ちをもち味わってほしいです。

小中学校給食値上げ分補填
令和6年度値上がりする学校給食費への補填を行い負担軽減を図る。

2146万円



百田 恭祐さん

材料や仕入れなども高騰しているため、水道代の減免は非常にありがたい。財政も厳しいと思うが今後も地域対策に期待しています。

上水道基本料金3カ月分減免
町民や事業者の負担軽減のために令和6年5月～7月請求分を減免する。

5200万円



後藤 堅太郎さん

買い物がお得になり大変助かっています。多くの方が商品券も利用されており地域の企業の支援にもなっています。電子商品券も誰もが利用しやすいようになって欲しいです。

プレミアム付き地域商品券
宇美町商工会が実施する電子プレミアム付商品券事業への補助を行う。(発行総額1億2000万円)

プレミアム率
20%

1300万円

教育長の任命



おりに くなり

折居 邦成 新教育長

新しい時代に対応した教育を提供し、町内外にも教育があるから宇美町に住み続けたい、住みたい、戻ってきたいと思っていただける町をゴール像とし日々の職務に全力を尽くします。

国の補助金を最大限活用



ひばりが丘のり面災害復旧
激甚災害の指定を受け国の補助率が拡充。

1億3120万円

片側通行が続くひばりが丘のり面

令和6年度 当初予算を審査

私たち議員はここに注目

3月定例会では当初予算審査特別委員会を設置し、令和6年度の事業のベースとなる当初予算の審査を行いました。

ここでは、主な質疑を要約してお知らせします。



特別会計



一般会計



当初予算審査特別委員会 委員長 白水英至 議員

当初予算の概要

※万円未満四捨五入

一般会計	予算総額	138億2595万円
後期高齢者医療特別会計	予算総額	6億2316万円
国民健康保険特別会計	予算総額	39億4877万円
上水道 事業会計	収益的収入	7億8285万円
	収益的支出	7億4840万円
	資本的収入	5795万円
	資本的支出	3億3568万円
流域関連 公共下水道 事業会計	収益的収入	9億4263万円
	収益的支出	8億5700万円
	資本的収入	4億7373万円
	資本的支出	7億6914万円

国民健康保険 特別会計



丸山康夫議員

問 国保税の収納実績と収納対策室の設置効果は

答 収納実績は2月末前年度比で0.75%上昇している。収納対策室の設置により公正・公平な負担による財源確保に取り組んでいく。

上水道事業 特別会計



鳴海圭矢議員

問 上水道基本料金減免の内容は

答 5月から7月までの3カ月間、物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用して減免を行う。SNSなどを活用して周知に努める。

一般会計



丸山康夫議員

問 ふるさと宇美町応援寄附金予算減額の原因は

答 昨年10月の制度改正により寄附額に対する返礼品や手数料などの事務経費が50%以下と改正されたため、返礼品の寄附額を値上げしたため。

一般会計



高橋紳章議員

問 「のるーと宇美」と「のるーと志免」を接続する計画は

答 宇美町と志免町の利用状況を把握し、研究していきたい。

一般会計



丸山議員議員

問 トレーニングルームの使用料減免の考えは

答 平成9年の開設以来料金は据え置いている。事業の充実により還元していきたい。

一般会計



鳴海圭矢議員

問 自転車用ヘルメットの助成金制度の内容は

答 令和6年4月より実施。領収書(写)、保険加入証明を添えて申請する。補助限度額は購入費用の1/2または3千円を上限として交付する。

一般会計



藤木泰議員

問 宇美中は太陽光発電があるにもかかわらず電気料金が高額な要因は

答 宇美中は他校より生徒数が多いため電気料金が高額となっている。電気代の約10%は太陽光発電で賄っている。

一般会計



平野龍彦議員

問 ごみ袋の材質にバイオマス導入の考えは

答 バイオマスを使用すると製作費が35%上昇するため、例年通りの材質で作製する。県内でバイオマスを使用しているのは北九州市のみとなっている。

一般会計



丸山康夫議員

問 総合スポーツ公園の照明を改修する考えは

答 令和8年度に改修を予定しているが、安全面が不十分な状態での貸し出しは望ましくないため、早急に検討する。

一般会計



黒川悟議員

問 合併処理浄化槽の設置状況と補助金継続の考えは

答 令和3年から7年までで、合計35基設置する計画。地形上、下水道に接続できない地域があるので今後も補助金は継続する。

一般会計



安川禎幸議員

問 財政調整基金からの繰入が増加してるが今後の財政の見通しは

答 物価高騰や人件費増などで厳しい予算編成となった。今後もこの状況が続くと予想される。

一般会計



鳴海圭矢議員

問 プレミアム付き商品券はなぜ電子商品券になったのか

答 地域商品券発行事業は県の補助金を活用し実施しているが、制度が改正され紙の商品券は補助対象外となったため。

審査した議案と各議員の賛否

○は賛成 ×は反対を表しています

議案名	議員名	小林孝昭	安川禎幸	高橋紳章	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	入江政行	黒川悟	鳴海圭矢	白水英至	藤木泰	審議結果	討論
専決処分の報告(和解及び損害賠償の額の確定)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
宇美町教育委員会教育長の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
財産の処分(宇美町大字炭焼字鍋ヶ浦118番1)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
財産の処分(宇美町大字炭焼字鍋ヶ浦113番1)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
町道路線の変更(大名坂6号線)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
工事請負契約の締結 (令和5・6年度 原田中央区町宮住宅1～5棟改修工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
工事請負契約の締結 (令和5・6年度 武道館空調設備改修等工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
工事請負契約の締結 (令和5年度 神武原池改修工事(その2))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町上水道給水条例及び宇美町上水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
地方自治法の一部を改正する法律の施行を伴う関係条例の整理に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町中小企業振興条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和5年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和5年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和5年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和5年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第5号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和5年度 宇美町一般会計補正予算(第7号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決	反対:鳴海 賛成:安川禎
令和6年度 宇美町国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決	反対:鳴海 賛成:安川禎
令和6年度 宇美町上水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	賛成:鳴海
令和6年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	賛成:鳴海
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更 (令和3年度 町道竹ヶ下～桜ヶ丘線災害復旧工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

※古賀ひろ子議長に表決権はありません。



町政を問う5人が登壇

一般質問

一般質問とは、定例会で議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです。掲載内容は、質問者自身が要約し、広報委員会で校正しています。

丸山 康夫 議員 8P

◆災害への備えは十分なのか

黒川 悟 議員 9P

◆大規模災害発生時の本町のB C Pの実効性は

◆水道管耐震化への対策は

鳴海 圭矢 議員 10P

◆地域防災計画の見直しは

平野 龍彦 議員 11P

◆通学路の安全対策は

安川 禎幸 議員 12P

◆高騰する医療費の適正化の方策は



各議員の質問の様子を
動画でご覧いただけます



まるやま やすお
丸山 康夫 議員

私の視点「なぜここを質問したか」

令和6年能登半島地震を受け、大規模災害に対する日ごろの備えの大切さを改めて実感した。本町の大規模災害への備えが十分なのか検証したい。

災害に対する 備えは十分なのか

答弁(町長) ソフトとハードの両面で備える

録画配信は
こちらから▶



問 防災備品などの整備状況は。

答 地域コミュニティ課長

地震の備えは、マグニチュード7.2、最大震度6強、建物全半壊757棟、避難者889人を想定し、水・食料・パティション Tent やベッド・発電機などの備品を備えている。

問 自主防災組織の組織化に向けた取組および設置状況は。

答 地域コミュニティ課長

平成30年から自主防災組織の設立に向けて取り組んでおり、延べ51回の協議を重ねてきた。自治会単位で組織している自主防災組織は12組織となっており、それぞれの組織が自主的に防災キャンプや消火器訓練などの防災活動を行っている。

問 調整池や砂防ダムなどの整備および管理状況は。

答 都市整備課長

団地造成時に築造された調整池が8カ所。ため池併用の調整池が4カ所。梅雨前に目視点検を行っている。

ため池併用の調整池は平成15年災害を教訓に、田植え後は水位を下げています。

また、本町には福岡県土整備事務所が管理している砂防ダムが25基あり、梅雨前に事前点検を実施している。

福岡農林事務所が管理している治山ダムは162基あり、下流域に民家がある場合などは、堆積物の除去も適時行われている。

問 避難所となる小学校の体育館にエアコンを設置しては。

答 学校教育課長

財源として国の補助金や起債も活用できるが、現在、校舎などの外壁やトイレの改修を行っており、体育館のエアコン整備まで手が回らない状況だ。

問 本町の大規模災害に対する備えは十分と言えるのか。

答 町長

令和6年能登半島地震を教訓にすると大規模災害への備えは全ての面で不足している。



満水状態の四王寺坂団地調整池

質問を終えて



以前に比べると災害への備えは格段に向上しているが足りないところも多い。自主防災組織の設立が進むことを期待したい。

今後ソフト面とハード面の両面で対策を行う。

私の視点「なぜここを質問したか」

大規模災害が起きた時のために、行政の行動計画が適切に策定されているか。また、実効性を高めるためにはどのように取り組むのかを問う。



くろかわ さとる
黒川 悟 議員

大規模災害発生時の 本町の BCP の実効性は

答弁(町長) 研修や訓練を持続的に実施する

録画配信は
こちらから▶



問 大規模災害時に職員の災害対応を含めた業務の遂行は。

答 大規模災害に対し「罹災証明書」が多数申請され、交付まで時間や労力を要することが想定される。その一助として、デジタル技術を駆使して被害を調査するシステムの導入は必要だ。

問 「罹災証明書」の申請から交付までの実情は。

答 「罹災証明書」の申請から交付までの実情は、マイナンバーカードを利用して申請することも可能であり、申請の電子化も進めている。

問 「罹災証明書」の申請から交付までの実情は。

答 「罹災証明書」の申請から交付までの実情は、マイナンバーカードを利用して申請することも可能であり、申請の電子化も進めている。

問 本町の「業務継続計画」(BCP)の現状は。

答 令和5年度「地域防災計画」の改訂に合わせ「業務継続計画」および「災害時受援計画」の見直しを行っている。

問 大規模災害時に職員の災害対応を含めた業務の遂行は。

答 大規模災害に対し「罹災証明書」が多数申請され、交付まで時間や労力を要することが想定される。その一助として、デジタル技術を駆使して被害を調査するシステムの導入は必要だ。

問 「罹災証明書」の申請から交付までの実情は。

答 「罹災証明書」の申請から交付までの実情は、マイナンバーカードを利用して申請することも可能であり、申請の電子化も進めている。

問 「罹災証明書」の申請から交付までの実情は。

答 「罹災証明書」の申請から交付までの実情は、マイナンバーカードを利用して申請することも可能であり、申請の電子化も進めている。

問 本町の「業務継続計画」(BCP)の現状は。

答 令和5年度「地域防災計画」の改訂に合わせ「業務継続計画」および「災害時受援計画」の見直しを行っている。



「罹災証明書」支援業務のDX化

質問を終えて

地域防災計画が、絵に描いた餅にならないように、研修や訓練を継続的に行うことで、実効性が高まることを期待する。

私の視点「なぜここを質問したか」

年明け早々の能登半島地震は、国・自治体などの様々な問題点を浮き彫りにした。最新の知見に基づいた地域防災計画の見直しが必要ではないか。



なるみ けいや
鳴海 圭矢議員 議員

地域防災計画の 見直しは

答弁(町長) 令和5年度に見直しを行う

録画配信は
こちらから▶



問 避難所の運営について男女を分ける配慮、プライバシーの

答 学校教育課長
校舎等外壁改修やトイレ改修などを順次行っており、一度に複数の工事はできない。並行して国の補助制度など注視していきたい。

問 小中学校の体育館は避難所としての役割も果たす。国の支援制度も活用して冷暖房の設置、断熱化工事を急ぐべきではないか。

答 地域コミュニティ課長
県のアセスメント調査の結果が出しだい、町の計画も見直したい。
また、宇美町地域防災計画は令和5年度見直し、国・県の整合性や近年の災害状況、大規模事故なども踏まえ改定を行っているところである。

問 想定外の災害に備えて、最新の知見と今回の能登半島地震も踏まえた上で地域防災計画を見直すべきではないか。

答 確保はどうなっているか。
体が不自由な方、介護が必要な避難者の対応。またペット連れの対応はそれぞれどうなっているのか。

答 地域コミュニティ課長
パーティションメントを世帯ごとに使用するので、プライバシーは確保できると思う。
避難が長期化した場合には地域や消防団による見守りなども考えられる。
体が不自由な方は福祉避難所へ案内する。またペット連れの要望があった場合には、勤労者体育センターをペット避難所としている。
避難所の運営には訓練が必要である。ガイドラインを基に町職員、地域の方、自主防災組織の方たちも一緒になった研修や訓練を考えている。



整備が進む大型防災備蓄倉庫

質問を終えて



本町の防災に対する現在の到達点が確認できた。不十分な点は早急に対応し、大規模災害に備えるべく要請する。

私の視点「なぜここを質問したか」

全国各地で子どもの交通事故が後を絶たないことから、改めて通学路の総点検を行い、安全安心に登下校ができる環境を目指す。



ひらの たつひこ
平野 龍彦 議員

通学路の 交通安全対策は

答弁(教育長) 危険個所の把握・対策を徹底する

録画配信は
こちらから▶



問 通学路のグリーンベルトの設置状況および要望はあるか。

答 都市整備課長

町道14路線に延べ3290m設置している。

要望は通学路交通安全プログラムに基づき一力所ある。

問 通学路安全対策合同会議に子どもの意見を反映できないか。

答 学校教育課長

学校からPTAを通じて、子どもの意見を収集できないか働きかけたい。

問 スクールゾーンの路面標示や標識の管理は。

答 都市整備課長

交通安全プログラムや自治会の要望に基づき、交通安全特別交付金を活用し、維持管理している。

問 通学路外側線の維持管理は。

答 都市整備課長

消えかけた外側線は、自治会からの要望に基づき随時引き直している。

問 交通量が多い学校の出入り口は、カラー舗装をすべきでは。

答 都市整備課長

要望に基づき粕屋警察署と協議し、クイックシートなどで対応している。

問 宇美小学校区のガードボランティアは120名から40名まで減少しているが、地域への募集の考えは。

答 学校教育課長

現在、学校は人員確保をしていないが、今後は地域へ募集を含めた情報発信を行いたい。

問 信号機と横断歩道の設置要望はあるか。

答 都市整備課長

信号機3カ所と横断歩道3カ所の要望があるが、設置基準に満たないため、クイックシートなどでカラー路面標示をしている。

問 子どものSOSの声を拾い上げることは大人の責任である。登下校の通学路交通安全対策に

やりすぎはないと考えるが見解を。

答 教育長

実際に通学路を確認し、危険箇所を把握した上で通学路の安全対策を徹底することが大事であると考える。

質問を終えて



減少したガードボランティアの募集を行い、グリーンベルトの設置箇所を増やす事により、通学路の交通安全確保を期待したい。



狭く危険な通学路にグリーンベルト設置



やすかわ よしゆき
安川 禎幸 議員

私の視点「なぜここを質問したか」

本町の後期高齢者医療の一人当たり医療費は県下1位であり、町の財政に深刻な影響を与えている。新設された「医療費適正化推進室」の役割を問いたい。

高騰する医療費の適正化の方策は

答弁(町長) 官民一体の健康づくりを進めたい

録画配信は
こちらから▶



問 後期高齢者医療費の状況は。
答 住民課長

令和4年度の総医療費は約65億円、一人当たりの医療費は約139万8千円で県下1位、前年度比で1・38%増となっている。

問 かかった医療費に対して町に定率の負担金が生じるが、その状況は。

答 住民課長
令和4年度決算額は約4億8千万円、前年度決算額比で1・6%増となっている。

問 昨年の機構改革で設置した「医療費適正化推進室」で分析している高医療費の要因は。

答 健康課長
基礎疾患の重症化や入院の長期化などが要因。

令和4年は入院医療費が全体の63・8%を占め、一人当たりの入院医療費は約88万円となっている。

不明な点も多いため更なる分析を進めたい。

問 医療費適正化の現在の取組と今後の対策は。

答 健康課長
生活習慣病と密接な関係にある大腸がん検診の推進を行った。令和6年度は、特定健診とがん検診のセット割健診、国保加入者の早期集団健診、委託による医療費分析を実施する。

問 委託による医療費分析の内容は。

答 健康課長
後期高齢・国保医療費、介護給付費の調査、近隣自治体との比較を大学と連携して分析を行い、町が抱える課題を抽出する。多角的な分析により、根拠に基づいた医療費適正化事業につなげていく。

問 支えあい「いきいき」と暮らし続ける元気をうみだすための将来像は。

答 町長
健康寿命の延伸を

目指し、生活習慣病の予防と重症化予防を重点的に取り組む。医療機関や事業所、地域が一体となって健康への学びを支える必要がある。
官民一体となった健康づくりの輪を広げる取組が重要である。

質問を終えて



高医療費の対策に特化した専門部署が新設された「医療費適正化推進室」に期待する。

宇美町けんしんガイド

国保限定 **けんしんセット割**

特定健診とがん検診を同日に受診すると
特定健診が0円

集団けんしんを受診したい方

WEB予約 / 電話予約
0120-800-462
土日祝夜9時～17時

医療機関けんしんを受診したい方
詳しくはP3～4へ

すでに病院で検査を受けている方
詳しくは裏表紙へ

特定健診

読みたくなる議会広報をめざして

2月21日(水)に全議員を対象に議会広報研修会を開催し、宇美町議会広報のレベルアップを図った。

講師には(株)会議録センターの矢嶋編集部長をお招きし、レイアウト技術や写真のトリミング技術などの基本的な編集技術をはじめ、効果的な見出しの付け方などを5時間にわたり講習していただいた。

これまでも「まずは手に取って読んでもらえる広報」を目指してきたが、更にバージョンアップして「手に取って読みたくなる議会広報」を作成していく。

今回の議会だよりから、研修で学んだことを編集に生かした。



広報研修会



広報研修会

宮崎県新富町議会の議会広報視察を受入

2月8日(木)に宮崎県新富町議会の議会広報特別委員会の視察を受け入れた。

新富町では議会のライブ配信、録画配信の導入も検討されており、宇美町議会が令和4年9月に導入した動画配信システムの視察も併せて行われた。

お互いの広報の良い点を取り入れ、町民の皆さんが「読みたくなる議会広報」を目指します。

今後も視察研修の受け入れなどで交流を深め、議会広報のレベルアップを図りたい。



新富町視察



新富町視察

町民の財産をまもれ！ 春季火災予防運動防火演習

3月3日(日)に宇美町働く婦人の家し〜ず・うみ調理室からの出火を想定した、宇美町消防団の防火演習が実施された。

当日は午前8時30分のサイレン吹鳴を合図に、各分団が公園内防火水槽や河川などの自然水利を使用して消火活動が行われた。

各分団は、分担された役割を迅速に行い無事に演習が終了した。



防火演習



防火演習

令和6年度宇美町消防団交替式

3月31日(日)に宇美中学校で、宇美町消防団主催の令和6年宇美町消防団交替式が行われた。

退団された末継団長以下各分団長へ町長から感謝状と記念品が、また、永年活動された団員の皆さんへ感謝状が贈呈された。

柴田新団長へ辞令が交付され、新体制がスタートした。



宇美町消防団新体制



宇美町消防団旧体制



宇美町の教育の未来を考える懇談会開催

2月27日(火)に「宇美町の教育の未来を考える懇談会」が開催された。この懇談会は教育委員会、町内小中学校、保護者、地域の代表者からなるもので、学校施設の在り方や校内活動、児童生徒の教育活動の確保について意見を聴取するもの。

当日は、愛媛大学露口健司教授を識者に迎え「宇美町教育の日について」や「小中一貫教育について」などの議題に対して、参加者それぞれの立場での活発な意見交換がなされた。教育に対する関係者の意見をダイレクトに反映させる非常に有意義な会議であるため、今後も継続して実施してほしい。



懇談会



佐々木教育長

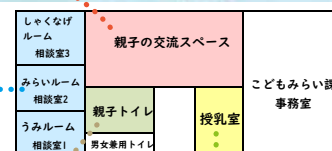
宇美町こども家庭センター開設

3月22日(金)に宇美町子育て支援センターゆうゆうの隣に開設された「こども家庭センター」を内覧した。これまで別々であった「母子保健」と「児童福祉」を一体化して、妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援を行う。

館内は明るく遊具もあり、保護者も安心して相談できる環境になっていた。相談者のプライバシーが確保されるなど、細かく配慮された構造になっており、宇美町の子育て世代を応援する施設として今後の活用が期待される。

～こども家庭センターの様子～

『こども家庭センター』は、妊娠期から子育て期まで切れ目なく寄り添う、あなたと家族の相談窓口です。





表紙にも掲載
しています

議会広報 インタビューシリーズ

第12弾

子どもたちの
笑顔とそれを支える方々に
スポットを当てて
いきます

4月14日(日)に「宇美八幡宮子安大祭」が盛大に執り行われました。
子安大祭は子どもたちの健やかな成長を祈願するお祭りです。2年に一度、御神体を奉載した神輿に稚児の行列がお供し、宇美八幡宮からおよそ700mの頓宮まで御神幸します。
天候にも恵まれ、地域の皆さんの協力もあり、素晴らしい祭典となりました。

地域の獅子舞で使われる獅子頭

稚児たちを先導している獅子頭(ししがしら)は、地域の公民館に大切に保管されています。か



なりの重量で往復1400mの距離を頭上に掲げ続けるのは大変です。

昔は青年団がお預かりしていました。

今でもお正月に地域で執り行われる獅子舞に使われています。



御神幸祭は、子どもたちにとって貴重な体験となり素敵な思い出になったことでしょう。



宇美町消防団の皆さんも、祭りが安全に執り行えるよう交通誘導に従事しました。



6年ぶりの開催に伊藤宮司は緊張した面持ちでした。

議会傍聴メーター Gikaiboutyou Meter

2022年3月議会からの傍聴者 累計 ▶ 185
3月定例会は12人が傍聴に来られました

185

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫
副委員長 鳴海 圭矢
委員 安川 繁典
委員 高橋 紳章
委員 安川 禎幸
委員 小林 孝昭



議会からのお知らせ

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)定例会が開かれます。
議会ホームページからは本会議の生中継がご覧いただけます。
傍聴する場合は、役場3階の傍聴席入り口で住所・氏名を記入ください。

次回の議会は6月11日に開会予定です。